



校長通信

令和4年度 4号 令和4年5月27日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

中間テストを終え、子供たちは少しほっとしたところでしょうか。来週は、3年生が修学旅行に行きます。天気が気になるところですが、楽しい、充実した旅行にしたいと思います。

《第1回学校運営協議会を実施しました》

5月20日（金）令和4年度第1回河北中学校学校運営協議会を実施しました。学校運営協議会制度は、保護者や地域住民が学校運営に参画する制度で、保護者や地域住民が学校や教育委員会に意向を伝えるとともに、学校からも保護者や地域住民に学校の運営方針を伝え、協力し合いながら学校運営の充実を図る制度です。

本校では、学校運営協議会の委員に、育友会長、育友会母親代表、野崎地区連合自治会長、湊地区連合自治会長、校区内4小学校長、元中学校長の方々を委嘱しています。それぞれの立場から、学校運営に関してご意見をいただき、学校運営に積極的に協力していただくことになっています。

第1回協議会では、今年度の学校運営方針を校長から説明し、承認していただきました。授業参観で、子供達の学習の様子もご覧いただき、ご意見・感想をいただきました。生徒は、大変、落ち着いて学習に取り組んでいると肯定的な感想をいただきました。また、学力の向上ためにも、小学校との連携を更に進める、グループ活動等をより多く取り入れる、教師の生徒への言葉かけに留意するなど、改善に向けてのご意見もいただきました。

《打って反省、打たれて感謝！》

私事ですが、5月22日（土）、和歌山ビッグウェーブアリーナにて、剣道国体選手予選会が開催され、昨年度に引き続き、大将の部（55歳以上）に出場しました。1回戦、相手は、実業団チームの強豪選手です。中盤、こちらが小手・面の連続技を打ち込んだところ、うまくかわされ、面を打ち込まれました。その後、こちらが少し気を抜いてしまった瞬間、面を打たれ、2-0であえなく敗退してしまいました。

本校職員の若手剣道家2名も次鋒の部（25歳以上34歳未満）に出場しました。2人とも、警察の剣道術科特別訓練員（剣道を専門にする警察官）を相手に、健闘し、すばらしい試合をしていました。

剣道に、「打って反省、打たれて感謝」という言葉があります。自分の弱さにはがゆい思いをしましたが、謙虚に受け止め、また稽古に励もうと思います。



